

東葛しぜん観察会

手賀沼でお散歩しぜん観察会

廣川真知子（千葉市）

下見会：5月25日（土）9:30 開始

場 所：北柏駅～大堀川～手賀沼自然ふれあい緑道～柏ふるさと公園解散

参加者：渋谷、小島、鈴木と、藤田、鈴木護、林信、白井幸、白井香、相吉、林真

担当指導員：鈴木俊、川瀬、廣川

今年で3回目の開催予定でした「手賀沼でお散歩しぜん観察会」は、当日の天候が不安定だったため残念ながら中止となりましたので、下見の内容をご報告いたします。

観察会のネーミングにもあるように、ゆっくりお散歩を楽しみながら進むことで、大堀川沿いの樹木や草地、そこにいる生きものたちをじっくり観察することをテーマにしました。手賀沼周辺の地形についてや かつては盛んだった手賀沼でのウナギ漁のお話をし、ウナギなどを運ぶ船の為の常夜灯についても間近で見ることができました。地域の発展とともに残された城址や、手賀沼にまつわる昔話が数多く残されているのもこの地域の魅力の一つです。常夜灯の近くに植えられているシロマツは珍しい3葉のマツです。マツの仲間としては長命であり、中国等では「長寿の象徴」「神聖な木」とされ寺院や墓苑に植栽されることが多いそうです。

千葉県の特産であるイヌマキの生垣も見られました。長くて明るい黄緑色の雄花が目立ちます。雌雄異株で主に風媒受粉であり、雄花が大量の花粉を振りまいていました。雌花は目立たない変わった形でこれが花托と種子が雪だるまのように重なる奇妙な種子になるのだから不思議です。

次に、県立手賀沼自然ふれあい緑道に入ります。緑道内にはハナノキやコブシ、イヌシデなど様々な樹木が植えられています。ミズキの枯れた幹では可愛いコゲラの雛が確認できました。また、ニワゼキショウやタンポポ、ヤハズソウ、カタバミ、ハルジオンなどの野草を観察できるように、またバッタやチョウなどの昆虫が見られるように、草花をなるべく残す草刈を4月頃から施してもらいました。今回は中止となってしまい観察会での虫取りや観察はできなかったけれど、日ごろ緑道を訪れる親子が虫取りをしている風景を見ると、草花を残す管理をしてよかったですし、今後も全ての草を綺麗に刈るのではなく、人が快適に過ごせて生き物と共存できる管理方法を探っていきたいと思いました。またこの場所で 観察会ができる日を楽しみにしています。



シロマツ樹皮はつるつる



イヌマキ 雄花雌花を観察



コブシはこの時期でもモフモフの芽あり



コゲラの幼鳥